

第3学年 英語科学習指導案	
題 材	◎Lesson 4 Activities(学校図書 3年英語 P.38~P.39)
目 標	(1) 積極的に既習表現を使おうとする <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Who is the girl running in the park?</span> (2) ペアと積極的に英会話をする。 (3) 後置修飾について理解する。 (4) ブータンについての説明をまとめる。
指導計画	全4時間扱い Lesson 4 第1時 4A「The man standing over there is my father.」・・・1時間 第2時 4B「I received a letter written in English.」・・・1時間 第3時 4C「I asked my father to help me.」・・・1時間 第4時 Activities(復習と定着)・・・1時間(本時)
指 導 上 の 立 場	(1) 題材について 本題材は、西岡京治がおこなった活動をスピーチの形式で紹介し、日本人が海外でおこなっている「国際協力」について取り扱ったものである。 日本人の先人が、移り住んだその国に根を下ろし、その国の人たちに本当に大切なことを見出し、生涯をかけて貢献したこの話は、国際協力やボランティアについて、その意義や必要性について理解させるのにふさわしい題材である。 この学習が、海外ではどんなボランティアや国際協力が必要かを考えさせる良い機会としたい。 また、英文中に後置修飾が取り上げられている。日常生活において前置修飾に慣れている我々にとって英語と日本語の発想の違いに気づかせたい。  (2) 生徒や学級の実態  <p style="text-align: center;">削除しています。</p> (3) 本題材で工夫する点や手だて 日本人にとって馴染みの少ないであろうブータンについて、具体的な資料を使って紹介し、文化や国民性の違いに触れさせる。 また、「後置修飾」について視覚的に説明したり、実際に英語を使う言語活動(ゲーム)を取り入れたりすることで、英語と日本語の語順の違いを定着させたい。  (4) 研究主題<研究テーマ>との関連 「効果的な学習につながるクラス分け」ができるように、生徒同士の会話練習と教え合い学習を効果的に取り入れる。

本 時 案 ( Lesson 4 Activities )			
目 標	(1) 積極的に既習表現を使おうとする。【表現】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Who is the girl running in the park? Do you know the city called the Big Apple?</span> (2) ブータンについて学習したことをペアと共同でまとめることができる。【文化】		
学 習 活 動	教師の支援及び指導上の留意点		
1 あいさつと簡単な英会話を行い、本時のねらいを確認する。	○ 簡単な会話をし、英語学習の雰囲気をつくる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ペアで会話練習をし、共同でレポートを作成する</span>		
2 前時までの内容を復習する。	○ 既習事項をパワーポイントで説明し、本時の学習に興味をもたせる。		
3 ブータンについて学習する。 (1) メモをとりながら聞く。	○ 資料(パワーポイント)を使って具体的に説明する。 ○ 個人用レポートの使い方を説明する。		
4 既習事項について復習し本時の言語活動について理解する。 (1) 声に出して復唱する。 (2) 少人数に分かれてからの言語活動について説明を聞く。  <少人数の体制に移動>	○ 既習事項をパワーポイントで説明し、視覚的に支援する。  ○ メモは取らずに復唱させる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">留意点 少人数に分かれてからの活動がハッキリとわかるよう、一人だけ指名をして確認する。</span>		
5 ブータンについてレポートをまとめる。 (1) 個人用レポートの情報をお互いに発表し合う。 (2) ペア用レポートを共同で作成する。 (3) 国際協力について考える。	○ ペアで話し合っ、教え合いながらレポートをまとめさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">留意点 ペアが作れていない生徒や三人組のグループに配慮する。</span> ○ 個人用・ペア用両方のレポートを作成させ、提出させる。 ○ 国際協力やボランティアについて感想を書かせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">留意点 感想まで書けていない場合は宿題にする。</span>		
6 後置修飾について復習する。 (1) ワークシートを使って後置修飾について復習する。 (2) 言語活動をする。	○ 教え合い学習をさせる。 ○ ペアで言語活動(ゲーム)をさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 評価C(表現)の生徒に対する手だて ・ 活動の内容がわからなければ他のペアに尋ねるよう助言する。 ・ 必要があれば、教員が直接助言する。</span>		
7 まとめと次時の連絡を聞く。	○ 一斉授業での説明を確認し、次時の連絡をする。		
準 備 参考資料	①ブータンを紹介する資料(パワーポイント) ②ブータンについてまとめるレポート A)個人用 B)ペア用 ③後置修飾説明用の資料 A)パワーポイント B)ペア学習用ワークシート		
評価の観点	評 価 の 基 準		
	A 基 準	B 基 準	
表 現	・ ペアと発音やアクセントまで気をつけて会話している。	・ ペアと積極的に会話を楽しんでいる。	・ 巡回指導 観察
文 化	・ 個人用とペア用の両方のレポートをもれなくまとめて感想まで書けている。	・ ペア用のレポートを もれなくまとめている。	・ 観察 レポート提出